

# JSP-53W 鋼桁の送り出し架設検討

**【概要】** JSP-53W は、鋼構造架設設計施工指針(2012年版、土木学会)に基づき、鋼箱桁および鋼桁の手延機による送り出し架設工法(送り出し装置を用いる)の全工程に対する断面力を自動的に算出し、断面および腹板座屈の検討、照査を行います。腹板の座屈照査は道路橋示方書・同解説 I 共通編、II 鋼橋・鋼部材編(平成 29 年 11 月)、DASt Richtlinie 012 鋼板の安定照査(1978 年 10 月、西独鋼構造委員会)、鋼構造架設設計施工指針(2012年版、土木学会)を用います。

- 【特長】**
- ① 支点撤去、ブロック追加、支点設置を自動で行い、たわみ、断面力をステップ毎に算出し、断面照査を行います。
  - ② 負反力が生ずる支点の対処方法は以下より選択できます。
    - ◆ 処理なし
    - ◆ 最後部移動支点を撤去する(方式 A)
    - ◆ 方式 A でも負反力が生じた場合は、最大負反力点を撤去し、負反力支点がなくなるまで繰り返す
    - ◆ 最大負反力点から順に、負反力支点がなくなるまで撤去する
  - ③ 主桁および手延機のキャンパー差の断面力を考慮できます。
  - ④ 橋脚の標高、製作そり差、ステージ(作業台)の勾配を考慮できます。
  - ⑤ 主桁断面形状は以下に対応しています。
    - ◆ RC 床版：鋼桁(1 主桁)、箱桁(1 主桁)
    - ◆ 鋼床版：鋼桁(1 主桁)、箱桁(1 主桁)
  - ⑥ 支点のジャッキアップ、ダウンはステップの範囲を指定して設定できます。
  - ⑦ 盛り替え方法は以下より選択できます。
    - ◆ 可動支点が盛り替え長以内に入ったとき(可動支点ありの場合)
    - ◆ 桁端が盛り替え長以内に入ったとき(可動支点なしの場合)
    - ◆ 安定計算で許容値がオーバーになったとき(オプション)
    - ◆ 手延機が橋脚を通過したとき(オプション)
  - ⑧ 腹板座屈の照査を行います。

**【製品価格】**

		税込	税抜
使用許諾料	1 ライセンス	1,650,000 円	1,500,000 円
追加ライセンス料	1 ライセンス	330,000 円	300,000 円
サポートサービス料 <sup>※1</sup>	年間(必須)	13,200 円	12,000 円

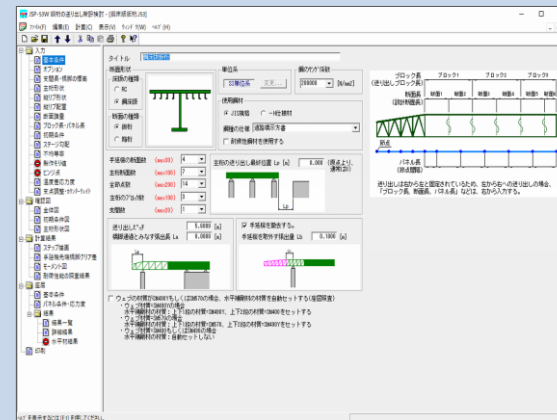
※1 サポートサービス料には、問合せサポートおよびマイナーバージョンアップ料が含まれています。

**【制限】**

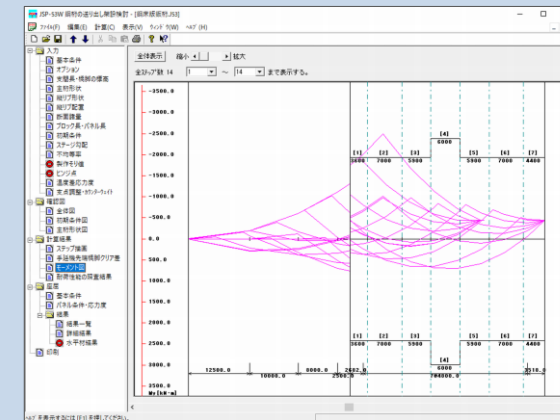
節点数	200 節点	主桁ブロック数	100 ブロック
支間数	20 支間	ステップ数	300 ステップ
主桁断面数	100 断面	手延機断面数	30 断面

**【動作環境】** Windows 10/11  
Microsoft®, Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

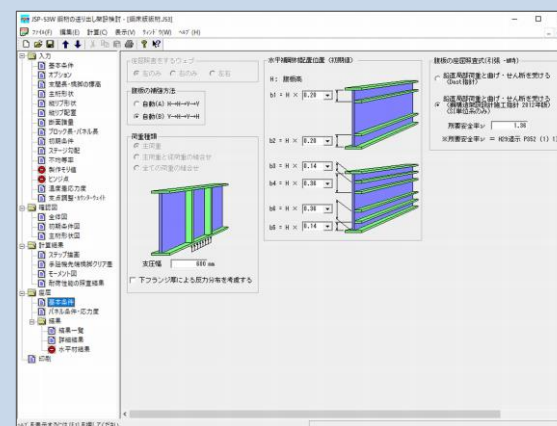
**【画面例】**



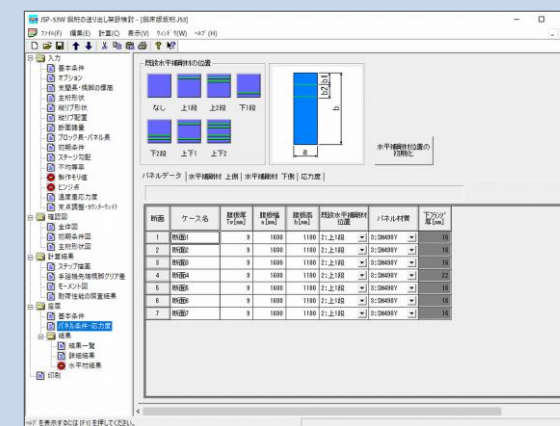
入力/基本条件



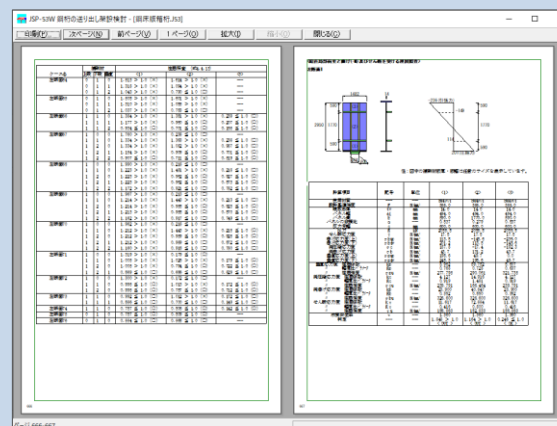
計算結果/モーメント図



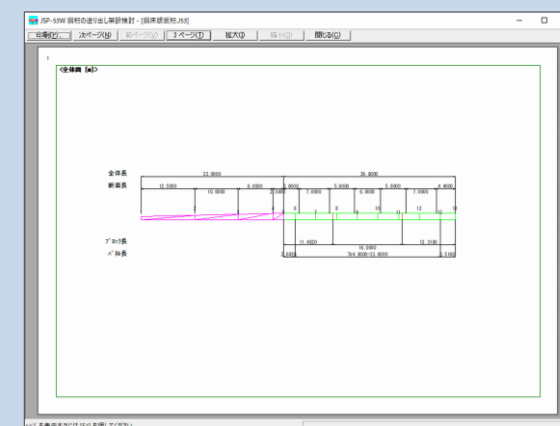
座屈/基本条件



座屈/パネル・応力度



印刷/計算結果帳票



印刷/計算結果帳票

